

例会報告：2013年6月4日（晴れ）第1800回 通常例会

◆ ビジター

井上 三郎様（小田原RC）
中村 健作様（小田原北RC）

◆ 会員誕生日

上田 博和さん（6月5日）

◆ 結婚記念日

中村 維孝さん（6月9日）
辻村 彰秀さん（6月10日）
大川 久弥さん（6月10日）

◆ 奥様誕生日

小楠 志帆さん（6月5日）

◆ ニコニコ箱

大木 清委員

	ニコニコ箱	累計	目標
6月4日分	32,000	983,040	1,300,000

*ビジター

井上 三郎様（小田原RC）…いつもお世話になっております。

*会員誕生日

上田 博和さん…誕生日お祝いいただき誠にありがとうございます。これからもどうぞ宜しくお願いします。

*奥様誕生日

中村 維孝さん…結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。今週の日曜日どこでお祝いしようかな。ノシカゴに1週間出張で行って来ました。ついでにインディアナポリスまで足をのぼし、インディ500マイルレースを観戦しました。日本人の佐藤琢磨選手が頑張っていました。感動です。

辻村 彰秀さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。

大川 久弥さん…本日は結婚記念のお祝いをいただきありがとうございます。

小楠 雅昭さん…家内の誕生日のお祝いありがとうございます。ちなみに上田さんと一緒です。

*その他

片桐 晃様（小田原中RC）…本日はお世話になります。よろしくお願ひいたします。

小嶋 章司さん…片桐理事長、本日卓話よろしく御願ひします。鴨宮店、挨拶が立派です。

清 康夫さん…5月、1ヶ月の売上げが過去最高の数字となりました。お客様に感謝、感謝です。

河野 秀雄さん…片桐理事長、本日はお世話になります。

大谷 宏さん…さがみ信用金庫の片桐晃理事長、本日は公私ともに大変ご多忙のところ、私達のクラブにご来場いただきまして、厚く御礼申し上げます。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

須賀 俊和さん…6月2日、インドネシアより、帰国しました。3年間、30回の海外出張の中で一番ハードな仕事です。お陰様で予定通り帰国出来ましたので。また、18日～30日まで、タイを予定しております。

小川 和夫さん…5月29日、グアムノーザンクラブにメイクアップしました。南国のクラブのためかりラックスムードでした。



■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

-2013年6月-

- ▶ 12日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:会員卓話」
小田原城北RAC マロニエ 19:30
「卓話:タイプ別診断」
- ▶ 13日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:クラブ協議会・規定審議会について」
- ▶ 14日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員卓話」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:クラブ協議会・会長幹事担当」
- ▶ 17日(月) 小田原 国府津館 17:30 M.U.受付なし
「卓話:クラブ協議会/委員長今期事業報告・会員親睦会」
- ▶ 18日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:大場脩一会員」
- ▶ 19日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:会員卓話」
- ▶ 20日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:担当理事1年を振り返って」
- ▶ 21日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員卓話」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:クラブ協議会」
- ▶ 22日(土) 小田原城北RAC J'DORIES 18:30
「卓話:納会&卒業式」
- ▶ 24日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話:クラブ協議会/執行部今期事業報告」
- ▶ 25日(火) 箱根 龍宮殿 18:00 M.U.受付なし
「卓話:年度末親睦会」
- ▶ 26日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:最終例会・クラブ協議会」
- ▶ 27日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:クラブフォーラム・執行部1年を振り返って」
- ▶ 28日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:クラブ協議会」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:事務引継・クラブ管理委員会担当」

※以降、各クラブ新年度の予定が確定しましたら掲載いたします。

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電 話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創 立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監 修：久保田 知子
編集長：須賀 俊和
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：須藤 公司・小楠 雅昭

会員数：49名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2012-2013
WEEKLY BULLETIN



【R. I. 会長】
田中 作次
【R.I. 2780地区ガバナー】
菅原 光志
【第9グループガバナー補佐】
鈴木 悌介



【会 長】小嶋 章司
【副会長】中野 明
【幹 事】久保田 知子
【副幹事】大川 久弥
【会場監督】清 康夫

奉仕を通じて平和を
PEACE THROUGH SERVICE

本日の例会：通常例会（第1801回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2013年6月11日 12:30～13:30

司会：大川 久弥 副幹事

12:30	開会点鐘：小嶋 章司 会長 ローターソング斉唱 「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：プログラム委員会 卓話：松陰弘一様・日本ボーイスカウト小田原地区協議会会長
13:30	閉会点鐘：小嶋 章司 会長

MEMO

今見つめ直そう不易なるものと流行

【今後の例会・卓話スケジュール】

6月18日 通常例会 12:30

担当：プログラム委員会

卓話：中野 明GSE団長・木村なおみGSE団員
「GSE帰国報告」

6月25日 通常例会(クラブ協議会) 12:30

担当：執行部

卓話：執行部
「未定」

7月2日 年初例会(クラブ協議会) 15:00～20:00

会場：報徳会館

担当：執行部・会場監督・(懇親会:親睦委員会)

年初例会:15:00～15:40/会計報告:15:50～16:00

クラブ協議会:16:00～18:00/懇親会:18:10～20:00

井島AGはクラブ協議会から・小田原北RCと足柄RC両会長幹事は懇親会から・小田原城北RAC会長も懇親会から出席

7月9日 通常例会 12:30

担当：露木清勝会長

卓話：諏訪間陽子様・元青少年交換留学生(2007～2008)
「未定」



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

例会報告：2013年6月4日（晴れ）第1800回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:00

❖ 会長挨拶

「三等車のロータリー」

小嶋 章司 会長



一昔前まで国鉄の車両は「グリーン」「普通」ではなく「一等」「二等」「三等」などとよばれていました。私の高校時代にはありました。たしか1960年に廃止になったと思います。この「一等」「二等」「三等」をロータリークラブにあてはめると、戦前のロータリーは、ごく少数のエリートあるいは貴族的性格を表して、これを「一等車のロータリー」と

呼ぶことができるでしょう。

そこは、貴族的人間の集まる場所であった。高い教養を備え、尊い地位にあり、偉大な社会的貢献をした人達の集まりで、その雰囲気はあたたか「一等車」の雰囲気をたたえていたからです。

これに対して戦後のロータリーはこの爆発的拡大を通じて、その数も増え、自ずと「二等車のロータリー」となりました。構成人員の底辺の拡大に伴い、自らはエリートと考える人達の占める割合が多くなってきます。それは「二等車」になぞらえることができるでしょう。

しかし、ロータリーが一般社会人とともに歩み、その尊敬によってささえられたものとなるためには、ロータリーもまた市民のものとならなくてはと思います。

「三等車」のごときであるべきだと思います。「三等車」は一般大衆の乗るところであり、その中に若干の異分子が含まれていようとも、人と人が、肩と肩、心と心を寄せ合うところが「三等車」です。

ロータリーもまた、これからは、「三等車のロータリー」である必要も出てくるわけです。異論もあるとおもいますが一つの考え方です。この話は今から30年前に宇部西ロータリークラブの湊会長がロータリー・一口はなしの中で書いています。30年たった今ロータリーは「三等車」になったんでしょうか？

❖ 幹事報告

久保田 知子 幹事



1)新会員2名の入会が理事会にて承認されました。露木年度に入会予定です。
2)小川会員がグアム島のノーザンクラブに行かれてバナーを交換して来ましたので、バナーをお返ししますのでご覧下さい。

❖ 出席報告

中野 明 副会長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
6月4日	49(46)	40	0	86.96%
5月28日	49(48)	37	1	79.19%
5月21日	49 (46)	34	3	80.43%

- 【欠席者】 6名
一寸木 信雄、石橋 徹、高橋 哲也、太田 忠、齋藤 永、西 寛
【今回MU】 0名
【前回MU】 1名増加
小川 和夫 (5/28 グアムノーザンRC)
【前々回MU】 増加なし

❖ 委員会報告

金山慶昭次年度幹事

- *この後準備理事会在談話室にてありますので、次年度理事の方は速やかにお集まり頂きたいと思っております。
- *本日6時より新旧理事・役員引き継ぎ会議を澤亭の方で開催しますので該当の方はよろしくお願い致します。

❖ Table Flower

- ひまわり
- フロックス
- ベビーハンズ
- シネンシスブルー

ひまわりの花言葉は「あこがれ」「崇拜」「熱愛」
フロックスの花言葉は「協調」「合意」「温和」



❖ 卓話

「地域と共に」

さがみ信用金庫 理事長 片桐 晃様



我が国の経済は皆さんご存じの通り、去年の12月16日に衆議院を解散しました。そこで政権交代というのが見えていましたので、そこから株とか為替の方はどんどん動いてきました。約半年間で、株は6千円上がり、為替の方は20円強円安になりました。円安というのは、私たちにとって良いのか悪いのかというと、総体的に見ますと今のところは日本の経済にとっては良い影響を与えていないのが実感です。ただ、それによって輸出の関連企業が高収益を上げ、またそれによって株価が上がってきているので世の中が明るい方向へ向かっているというのは、総合的に見ると、よしとすべきなのではないかなと私は思います。そんなわけで、政府や日銀が統計を出しております。

5月20日、内閣府から出ている月例景気調査でいきますと、景気は緩やかに回復に向かっているという状況です。国全体としてはそうなのかもしれませんが、実際に私共の県西地域ではどうなのかというと、4月17日の景気動向調査によると、収益とか利益は最悪の状態だという調査結果が出ております。大企業はそれなりに良いようですが、県西地域の中小企業はあまり良くない状況が依然と続いているようです。ただこの調査では、先行きの見通しは明るいですよと、言っています。

とはいえ、箱根を中心とした観光地はだいぶ良くなってきており、ホテル、旅館、土産物屋などはかなり売上げが上がってきております。そういう景気状況の中、金融円滑化法（返済は金融機関は猶予をする）というのが平成21年12月4日から始まり、翌々年の3月までの時限立法でしたがこれも延長、そのあとも延長し、今年の3月31日で終了になったのですが、政府の方はこれを止める事にかなり慎重で、実は3月に県下の信用金庫と信用組合の理事長が横浜に集められ、財務局の局長から、法律が終わってもすぐに返してくれとか、相談に来てものりませんよとか、そんなようなスタンスではないで下さい。というお話がありました。

法律は無くなりましたが前と同じような形で対応しなさいということになりました。そんな事にお答えするには私どもの体力がしっかりしていないといけませんが、さがみ信用金庫の24年度の決算状況は減収で増益でした。決算としては良い決算が出来ております。これについては6月10日に公表を致しますので、細かい数字はご確認頂ければと思います。

地域金融についてですが、地域の金融機関がしっかりしないといけません。当金庫は3度に渡る合併、合併、事業の譲り受けと言う事を経験してきました。あしがら信金さんとの合併は平成4年9月のことでした。昔の金融機関の合併というのは秘密裏に行われました。表向きは対等合併でないといけなくてやってきました。そうしないと、悪い風評がたつてしまい、うまく合併がまとまらない事に成りかねないというこ

とでした。実際にあしがら信金さんとの合併については、有価証券の運用で穴をあけてしまったということで、合併するには穴を埋めてからでないといけませんでした。それを当時の小田原信用金庫では、のれん代という形で穴を埋めて一緒になりました。これは何処からも一銭も貰わずに私どもの体力だけで合併を致しました。その次に合併をしたのが、箱根信用金庫です。こちらは10年9月でした。

強引な融資とか不正融資に近いような事をし、立ちゆかなくなり私どもと合併になりました。これについては私どもの上の機関である信金中金の総援資金を使って合併をしました。平成12年には、西相信用金庫から事業の譲り受けがありました。こんな形で金融機関と言うのは、ちゃんとしていないといけな、しっかりしていないといけな、この3つの事で私はつくづく感じました。

さがみ信用金庫の当面の経営についてですが、まず店舗の効率化では、国府津支店を移転致しました。駐車場も車が24台置けるような広い所に移転しました。エコの事に対しても私は思い入れがあります。また人に優しいという事にも思い入れがありますので、バリアフリーで車を降りてから全部車いすで入れ、貸金庫も車いすで入れる。ATMも使える。トイレもそのまま入れる。こういうことをしたり、あるいは入って直ぐに案内の人を常時置くようにしたり、伝票を書かなくても良いシステムを入れました。エコステージの認証をこの2月に取得いたしました。エコステージ2というのを今年度中に取りようとしております。これはISOの14001に匹敵するようなものです。環境の事、あるいは経営のスリム化にも繋がる事ですのでやっ

ていこうと思っております。それからもう一つ申し上げておきたいのは、今までの地域の金融機関の謳い文句は、地域の為、地域の活性化の為など色々申し上げてきましたが、実際にそれがなされているのかどうかを、もう一度私共自身が考えなければいけないのではないかと思います。今までお手伝いみたいな形でそういうことを考えていたのは、もう駄目なんだよと言いました。とにかく自分達が主体になって地域を引っ張っていくようなつむりの動きをしないと、地域の活性化は図れないですよと言いました。それには実際にどういう動きをしたら良いのかを考えました。やはり地域のニーズは何なのかを掴んで、当金庫としてはどういう青写真を描いたら良いのかを考え、実際に小田原市役所の企画の方と色々やっております。当金庫も皆さんと一緒にこの地域を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後共よろしく御願ひ致します。

